

こぶしの風

(題字: グループホーム 吉澤勇哉さん 御子柴真樹さん)



こぶし会
ロゴマーク

第49号

発行: 令和6年8月20日 発行: 社会福祉法人信濃こぶし会 編集: 広報誌こぶしの風編集委員会

〒399-3202 長野県下伊那郡豊丘村神稲4026番地1 電話 (0265) 35-8511 FAX (0265) 35-9016 E-mail: kobushi@dia.janis.or.jp URL http://kobushikai.or.jp/



パドルダッククラブ



快^{!!}適^{!!}に過^{!!}ごしてま^{!!}す

仮住居 ハートスペース小川にマ



目次

理事長あいさつ.....	2P
ブルーベリー収穫最盛期.....	2P
パドルダッククラブ改修工事.....	2P
令和5年度 事業・決算状況.....	3P
職員の素顔.....	4P
職員の動き・編集後記.....	4P

作者 / 第二こぶし園
小澤直季さん



作品「金魚鉢」

==== 安心して暮らせる地域をつくるために ====



令和5年度を振り返って 理事長 高本隆光

神道の教えに「神恩感謝」があります。
 「日々の生活に感謝し、感謝の気持ちをお祈りする。」
 私は、日ごろのご恩やご縁に感謝すると理解をしています。
 当法人は日々、目に見えるもの、目に見えないもの
 様々な感謝をいただきます。改めて物質的・精神的感謝
 を記し、令和5年度を振り返ります。



物質的＝「物」の感謝として、こぶし園・第二こぶし園内のLED及びエアコンの設置事業(右上 写真)を、県のエネルギーコスト削減補助事業の助成をいただき整備しました。また、ユアサポートぼっぼには、日本財団より車両助成事業の助成をいただき、福祉車両の導入(左下 写真)を行いました。施設、車両整備は利用者さんの利便性・快適性に大きく直結するものであり、関係する多くの皆様方のご厚意に深く感謝申し上げます。

精神的感謝、特に利用者さんやご家族の皆様からいただく労いは、私ども職員の心の豊かさにほかなりません。



顔を合わせるたびに「いつもありがとう」と挨拶してくれる利用者さんがいます。この「いつも」を加えていただける言葉に、一層の有難さを感じます。また、「こぶし会があってくれてどれだけ有難いか!」と折に触れて伝えてくださる保護者の皆さんも少なくありません。「お役に立てる喜び」を真っすぐに実感できる有難いお言葉です。

改めて、物質的・精神的両面から支えていただき、令和5年度が平穏無事に過ごすことができました事に感謝申し上げ、引き続き「神恩感謝」の念を以て法人運営に努めて参ります。



たわわに実ったブルーベリー 第二こぶし園



今年もブルーベリーがたくさん実りました。一粒ずついねいに摘み取り、選別した後にはパックに詰めて直売所などに出荷しました。購入していただいたお客様に、甘酸っぱい夏の味覚を楽しんでいただきました。

表紙の説明

改修工事進むパドルダッククラブ

パドルダッククラブは緑の木々の中で、利用者の子どもさんたちを待っています。コンクリートの建物から解放され、靴も靴下も脱いで畳の上にゴロンと横になる『ばあちゃんち』のような建物です。



古いがゆえにトイレがひとつしかなく、皆様には大変ご迷惑をお掛けしていましたが、補助金をいただく中で、1期工事のトイレとシャワールームの改修に続き、2期工事で相談室、更衣室などの改築も行っており、工期は約2か月、8月下旬には引き渡しの予定です。

総事業費は1,254万円で、うち1期工事が737万円、公益資金記念財団より補助金455万円。2期工事は517万円、中央募金会より補助金500万円を受けて念願の改修、改築工事が執行出来ました。たくさんの援助、本当にありがたく心より感謝しております。

また、工事の間ハートスペース小川と支援センター2階をお借りして暑い夏を安全に過ごさせて頂いています。法人内の皆様、ご協力ありがとうございます。完成の折には是非お立ち寄りください。



令和5年度 事業・決算状況

令和5年度は、新型コロナが1年前の5月8日から「5類」に移行されたことにより、外出制限、マスクの着用、また飲食店の営業時間など水際対策も原則的に緩和されましたが、法人内は感染防止策を緩めることなく事業を進めて来ましたが、しかしながら5類によって感染対策が緩くなった分、世の中は感染ルートが見えなくなり感染は拡大しました。そのような状況では、いくら注意していても事業所内で感染者やクラスターが発生し、一部で事業所の閉鎖や規模縮小、利用の1本化を図るなど対策を講じました。

このような状況の中、決算数値の事業収益では、主に児童系が令和4年度に落ち込んだ分令和5年度が大きく伸びたことにより前年比7,195千円余増となりました。一方の事業費用では、人件費が前年比7,547千円増加し、事務費では、こぶし園と第二こぶし園が県補助金を活用してLED化したことなどにより前年を大きく上回りました。これらによって事業増減差額（損益）は、△527千円とマイナスになったものの、事業活動外で、県からのエネルギーコスト削減促進事業補助金のLED分3,244千円、同じく県からガソリン代、光熱費、食材費などの値上がり対策として価格高騰対策支援金2,643千円、このほか児童置き去り防止安全装置設置補助金などの補助金により令和5年度経常増減差額は最終的にプラス5,001千円となりました。

また、施設設備関係では、第二こぶし園で県の補助金を用いて食堂のエアコン2台を1,230千円で取り付けただけは主だった事業はありませんでした。合わせて、令和2年度に支援センター南側を4,000千円掛けて車椅子も通れる通路を整備しましたが、土地は、地主さんの都合で5年度にようやく購入できました。このほか車両では、ぼっぼが日本財団の助成によりキャラバンを導入するなど総体的には、令和5年度は大きな事業はなく、安定した結果となりました。



事業活動計算書 社会福祉法人 信濃こぶし会

自 令和5年4月1日 ~ 至 令和6年3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算	前年度決算	増減	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	14,092,971	14,597,693	△ 504,722
		障害福祉サービス等事業収益	375,134,851	367,334,724	7,800,127
		経常経費寄附金収益	0	100,000	△ 100,000
		収益計(1)	389,227,822	382,032,417	7,195,405
	費用	人件費	283,603,603	276,055,959	7,547,644
		事業費	33,076,561	32,590,415	486,146
		事務費	34,341,545	25,592,752	8,748,793
就労支援事業費用		14,178,260	14,504,923	△ 326,663	
減価償却費		37,209,142	36,021,965	1,187,177	
費用計(2)	△ 12,653,865	△ 13,525,563	871,698		
増減差額(3) = (1) - (2)		△ 527,424	10,791,966	△ 11,319,390	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	5,088	5,828	△ 740
		その他のサービス活動外収益	7,376,365	6,076,282	1,300,083
		収益計(4)	7,381,453	6,082,110	1,299,343
	費用	その他のサービス活動外費用	1,852,294	1,989,871	△ 137,577
		費用計(5)	1,852,294	1,989,871	△ 137,577
増減差額(6) = (4) - (5)		5,529,159	4,092,239	1,436,920	
経常増減差額(7) = (3) + (6)		5,001,735	14,884,205	△ 9,882,470	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	3,898,000	0	3,898,000
		施設整備等寄附金収益	0	0	0
		収益計(8)	3,898,000	0	3,898,000
	費用	固定資産売却損・処分損	6	9	△ 3
		費用計(9)	3,898,006	9	3,897,997
増減差額(10) = (8) - (9)		△ 6	△ 9	3	
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)		5,001,729	14,884,196	△ 9,882,467	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		571,859,454	556,975,284	14,884,170
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)		576,861,183	571,859,480	5,001,703
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)		86	0	86
	その他の積立金積立額(16)		112	26	86
	次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)		576,861,157	571,859,454	5,001,703

職員の素顔

グース

えのきぞの
榎園 由起子
(指導員)



一昨年の夏からグースにお世話になり、2年が過ぎました。

この原稿を書いている今日は、夏休み真っ只中。グースではビニールプールを2つ出し、毎日、水遊びをしています。

今年も猛暑日が続いていて、エアコンなしではとても過ごせないですが、我が家の2匹の猫はエアコンが苦手らしく、いつの間にか隣の部屋に行ってしまう。かと思うと、床の冷たさが心地よいのかどこにでもゴロンとしていて、踏んでしまいそうにもなります。

夏の食では去年からスパイスにハマリ、休日は中川村や伊那や駒ヶ根までカレーやチャイを求めて出かけています。チャイは自分でも手作りしますが、スパイスの效能なのか、リラックスでき、元気に過ごせています。

アイビス

山澤 かおり
(支援員)



昨年4月よりアイビスに入職させて頂きました山澤かおりです。

“のほほ～ん”とした私に障がいのある方の支援が出来るだろうか?と最初はとても不安でしたが、パドル、アイビスの先輩スタッフに指導やアドバイスをいただき、時には相談にも乗ってもらい、早1年が経ちました。

今では、利用者さんからも「山澤さん!山澤さん!」と声を掛けてもらえるようになり、楽しく日々仕事をさせて頂いています。

私生活では、犬4匹、猫2匹の大所帯で毎日大騒ぎですが、とても癒されています。

まだまだ未熟な私ですが、これからも先輩スタッフの指導と、利用者さんからの声にも助けをいただき、もっともっと頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

職員の動き

こぶし園

藤澤 紀子
(事務員)



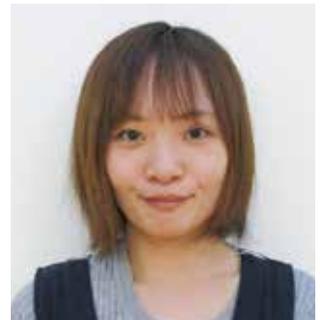
今年の4月から就労継続支援B型事業所こぶし園の勤務になりました。皆さんに温かく迎えていただいて、毎日楽しく過ごしています。

信濃こぶし会でお世話になり始めてから今年で13年が経ちました。これまで法人内の様々な事業の事務業務に携わってきましたが、法制度や支援について、また会計や勤怠管理の新たなシステムなど…たくさんの事を学ばせてもらいました。就労継続支援事業は2年目、まだまだ知らないことがたくさんあるので日々勉強中です。

利用者さんの生活がより豊かになれるよう、現場職員のみなさんの業務がスムーズに進むように、縁の下の力持ちとして今後も微力ながら頑張っていきたいです。

ユアサポートぽっぽ

宮沢 智美
(生活支援員)



ユアサポートぽっぽでお世話になり、今年で7年目となります宮沢智美です。

利用者の皆さんやスタッフの皆さんに支えられ、日々楽しく過ごさせていただいております。

最近のぽっぽの活動では、9月の飯田市美術博物館のあーと展に向けて「見に来て良かった」と思っただけのように利用者やスタッフ一丸になって頑張っていますので、心待ちにして足を運んでいただけたらと思います。

私生活では、中学1年生と小学校4年生の娘が2人います。最近、娘たちに、あと数センチで身長を追い抜かれそうなので、いつ抜かされるのかとドキドキしている日々です。

娘達の成長を楽しみながら、今後も精進して参りますので宜しくお願いします。

編集 後記

パリオリンピックが閉幕しましたが、まだ、熱冷めやらんといったところでしょうか。

3年前の東京オリンピックは、コロナが世界的に拡大する中でしたので、無観客での開催でした。今回のパリは、世界中から多くの人が集まり、観客席からは大きな声援が聞こえ、選手もその声に力もらいたくさんの感動を見せてもらいました。その一つに、競技ではありませんがきっと多くの人が目にした、女子柔道の阿部 詩選手が2回戦で敗退し、畳を降りた瞬間その場に泣き崩れました。すると…会場から「詩」「詩」「詩」のコール!人種も国も越えて会場が一体となった瞬間でした。
(久保田富子)